

神奈川県産シタバガ属 3 種の記録

高 桑 正 敏 ・ 西 村 正 賢

Records of Three Species of the Genus *Catocala* (Lepidoptera)
from Kanagawa Prefecture, Japan

Masatoshi TAKAKUWA and Masatoshi NISHIMURA

シタバガ属 *Catocala* SCHRANK は、いわゆるガ類の中でもっともよく知られた仲間で、日本での分布状況も一般にはかなり調べられてきている。神奈川県産としては中島 (1987) と清野・神部 (1987) によればこれまでに14種が記録されているが、それらの県内における分布態は必ずしも明らかではなく、神奈川県の *Catocala* 相を論じるにはなお多数の知見の集積が必要かと思われる。ここでは、そのための一助として、分布的に興味深い3種を記録しておくことにする。

1. シロシタバ *Catocala nivea* BUTLER

1 頭, 中郡大磯町湘南平, 2. VIII. 1987, 高桑採集 (図1, 2)

クロマツの幹に静止中のもの (図1) が、たまたま神奈川県立博物館行事の「夏休み昆虫教室」に参加した小学生の竹越尚伸君によって発見された。県内では中島 (1983) による丹沢札掛からの1頭がこれまでの唯一の記録であった。

関東周辺における筆者らの知識では、本種はブナクラス域の山地に多く、時に群馬県桐生市 (小林・小池, 1987) など内陸の低地や山梨県日野春 (藤森・中沢, 1986), 同明野村, 長野県松本平などの内陸盆地で見つかる種である。太平洋側の、しかも相模湾に面した温暖な地での発見は、まことに意外なことであった。

なお、本種の幼虫はウワミズザクラ (サクラ科) しか食さない (杉, 1987 など) 単食性として知られる。この樹種は県内の低地、とくに温暖な地にはあまり見かけないが、浜口哲一氏によれば湘南平の北斜面 (平塚市側) にはまとまって生育する場所があるとのことなので、シロシタバもこの地で細々ながらも発生を繰り返してきたと考えるべきだろう。

2. オニベニシタバ *C. dula* BREMER

1 頭, 横浜市緑区寺家町, 18. VIII. 1987, 西村採集, 高桑保管 (図3)

太いコナラの幹に静止中のもの。発見後、同行の高桑とともに15分ほど意識的に周辺のコナラとクヌギを探してみたが、追加例を得るには至らなかった。県内ではこれまでに丹沢 (中島, 1976; 山本・神部, 1981) と箱根 (宮田・沢田, 1976) から記録がある。

筆者らの知見では、本種は関東周辺では山地もしくは山梨県日野春, 明野村など内陸盆地に普通だが、関東平野南部や東海地方など太平洋岸の低地部での採集例を聞いたことがない。この点で、横浜市における本種の発見は予期せざるものであった。しかし、分布態が詳しく判明しているチョウ類においては、たとえばカラスジミやヒメキマダラセセリのように、元来は多少とも山地に棲息するが神奈川県周辺では多摩丘陵に限って分布を伸ばしている種もあり (ただし後種は房総半島清澄山塊, 狭山丘陵などにも分布する), あるいはベニシタバもこうした分布型を示すものの1つかもしれない。

なお、秋山秀雄氏はやはり横浜市緑区寺家町において、1986年9月8日に本種らしい個体を目撃している。雑木林内を調査中に飛び出したが、結局見失ってしまったとのことで、採集し確認できなかったことから発表を控えていたものである。こうした点からも、上記の地でのオニベニシタバの棲息は確実だと考えてよいだろう。ちなみに本種の幼虫はコナラ, クヌギなどコナラ属の植物を広く食する (杉, 1987 など)。

3. マメキシタバ *C. duplicata* BUTLER

1 頭, 津久井郡津久井町原替戸, 6. VIII. 1983,



図1. クロマツ樹幹上に静止中のシロシタバ(大磯町)

原聖樹採集, 高桑保管

関東周辺では低山地や内陸盆地のコナラ, クヌギ林にごく普通な種であるが, これまで県内では箱根町底倉(宮田・沢田, 1976)と津久井郡相模湖町大垂水峠(山本・神部, 1981), 同郡藤野町小淵(清野・神部, 1987)の記録を見るにすぎない。津久井地方には広く分布している可能性が高いことと, 前種が棲息している地域にはほとんど本種も分布していることから, より東方向(多摩丘陵方面)での発見が期待される。

末尾ながら, 上記3種の分布について御教示願った日本蛾類学会の杉 繁郎氏, ウワミズザクラの分布を教えていただいた平塚市博物館の浜口哲一氏, 貴重な標本とその発表を委ねられた神奈川県立蚕業センターの原 聖樹氏と東京都杉並区の竹越尚伸君, 目撃例の発表を許された神奈川県昆虫談話会の秋山秀雄氏, さらに横浜市寺家町での調査の機会を与えてくれた横浜市緑政局ならびに公害対策局に心からお礼を申しあげる。

文 献

- 藤森克彦・中沢文雄, 1986. 日野春周辺の *Catocala*. 山梨の昆虫, (26): 683.
小林栄一・小池正之, 1987. 5. 鱗翅目蛾. 斎藤晋・小

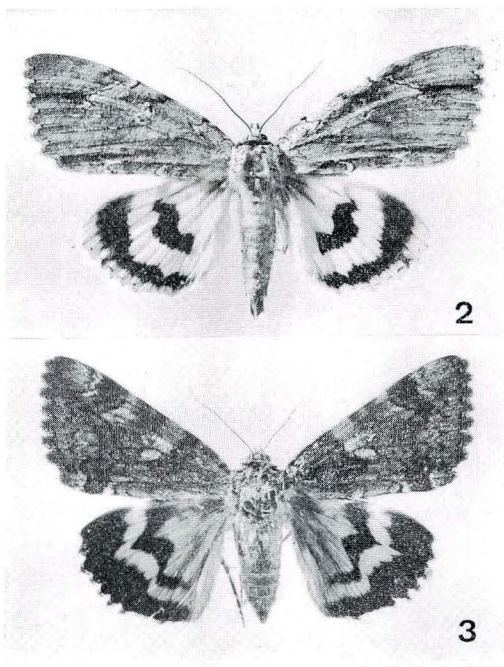


図2. シロシタバ(大磯町産)

図3. オニベニシタバ(横浜市緑区寺家町産)

池正之共編, 桐生市動物誌, pp. 155-176, 図113. 桐生市教育委員会.

宮田 保・沢田秀三郎, 1976. 箱根の蛾相. 木原 均編, 箱根の樹木と自然, pp. 282-306.

中島秀雄, 1976. 丹沢・主稜上の蛾類. 理科部会会報, (20): 21-25. 神奈川県高等学校教科研究会.

中島秀雄, 1983. 丹沢山塊(神奈川県)の蛾類, pp. 1-82. 日本私学教育研究所.

中島秀雄, 1987. 神奈川県 *Catocala* 既知種. 神奈川県昆虫談話会2月例会講演資料(一部).

清野元之・神部昭夫, 1987. 神奈川県津久井郡藤野町の蛾類IV. 神奈川虫報, (82): 13-22.

杉 繁郎, 1987. ヤガ科(一部). 杉 繁郎編, 日本産蛾類生態図鑑, pp. 223-229. 講談社, 東京.

山本光人・神部昭夫, 1981. 神奈川県の蛾類調査目録. 神奈川県昆虫調査報告書, pp. 101-155. 神奈川県教育委員会.

(高桑正敏: 神奈川県立博物館, 西村正賢: 神奈川県昆虫談話会)